

大和ハウス工業株式会社

<https://www.daiwahouse.com/sustainable/eco/>



《将来に向けた取組方針》

大和ハウスグループでは、創業100周年の2055年を達成年度とする、環境長期ビジョン“Challenge ZERO 2055”を掲げ、自然環境との調和（生物多様性保全）を含む4つの重点テーマに関して環境負荷0に挑戦しています。また、環境長期ビジョンの実現性を高めるため、2030年にマイルストーンを設定し、それを基に3カ年毎の目標を環境行動計画「エンドレス グリーン プログラム」として策定、活動を推進しています。

生物多様性保全でのチャレンジゼロは、「森林破壊ゼロ」「生物多様性損失ゼロ」を目標に、サプライヤーと協働で取り組んでいます。

〈取組み事例〉

森林破壊ゼロに向けた取り組みを強化するため、2020年度に「森林破壊ゼロワーキンググループ」を立ち上げ、環境NGO団体、サプライヤーにもメンバーとして参加いただき、2021年度に当社グループの新たな森林破壊ゼロの方針を策定しました。

森林破壊ゼロ[※]方針

大和ハウスグループは、

- ・森林破壊ゼロの方針に掲げるサプライヤーから木材を購入します
- ・原産国における先住民、労働者の権利、安全に配慮した木材を取り扱うサプライヤーから購入します
- ・トレーサビリティが確認できる木材を購入します
- ・森林破壊ゼロの対象となる木材を、構造材、下地面材、柵木、フロア材に加え、型枠合板パネル、主要設備、建具、クロスに拡大します

※森林破壊ゼロとは

- ①自然林の皆伐により生物多様性が毀損されていない木材
- ②高炭素蓄積地（HCS）を毀損しない方法で植林された木材
- ③100%リサイクル材

また、自社施設での認証の取得や、生態系調査の実施など、生物多様性の保全に取り組んでいます。



三重工場敷地内での生態系調査の様子

■認定済み施設

施設名	会社名	認定名	認定日
ロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾート ～ASONOHARA～	大和ハウス 工業	JHEP(AAA)	2019年6月
		ABINC	2020年2月
ブランチ神戸学園都市	大和リース	JHEP(AA)	2015年7月
ブランチ稲毛		SEGES	2015年7月
ブランチ茅ヶ崎		SEGES	2017年7月
ブランチ仙台		SEGES	2020年3月
ブランチ松井山手		SEGES	2020年3月
ブランチ岡山北長瀬		SEGES	2020年3月
ブランチ大津京		SEGES	2021年2月

〈今後の課題等〉

今後は、自社敷地の立地的な評価を行ない、保全の必要性が高いサイトから生物多様性の保管理の計画を進めていきます。大和ハウスグループは、生物多様性におけるネイチャー・ポジティブの達成に向け、多様なステークホルダーの皆様との協働を積極的に推進していきます。